

研究会報告

旅館—地方創生に向けたおもてなし

2022年2月6日、*Ryokan* (注) という著書でも知られているシンガポール国立大学准教授のクリス・マクモラン先生を講師に招いた金沢大学国際学・観光科学セミナー「旅館—地方創生に向けたおもてなし」を行いました(主催: 金沢大学人間社会学域国際学類、共催: 金沢大学人間社会研究域附属先端観光科学研究センター)。

日本の旅館は、どのようにしてくつろげる空間になっているのでしょうか。マクモラン先生は、熊本県の黒川温泉の旅館で、働きながら観察するという参与観察に行ってきました。今回のセミナーでは、その成果をもとに、社長と女将という分業体制、家族とビジネスの境界が曖昧な家族経営の実態、ホスピタリティの中核を担う流動的な労働者である仲居さんの役割など、旅館を支える人と仕組みの実態を報告されました。お客さんの視点ではなかなか見ることができない旅館の「おもてなし」の仕組みを知ることができ、ホスピタリティー研究の進展に向けた有意義なセミナーとなりました(菊地直樹)。

注1 Chris McMorran, 2022, *Ryokan: Mobilizing Hospitality in Rural Japan*, University of Hawaii Press



Ryokan: Mobilizing Hospitality in Rural Japan
旅館—地方創生に向けたおもてなし

国際学・観光科学セミナー
英語講演、日本語通訳あり
2月6日(日)
10:00~11:30(9時45分開場)
オンライン開催
参加費無料・現下の新型コロナ感染拡大状況に鑑み、全面オンライン開催に変更いたしました。

日本の旅館は、どのようにしてくつろげる空間になっているのでしょうか? 黒川温泉で働いた経験もある文化地理学者のマクモラン氏が、旅館を支える人と仕組みの実態に迫ります。地域にとって、旅行者にとって、そしてそこで働く人々にとって、旅館はどのような役割を果たし、また、人々の「共感」を誘う場になっているか、一緒に考えてみませんか?

講師: クリス・マクモラン (シンガポール国立大学准教授)

アメリカ・アイオワ州出身。2008年にコロラド大学ボルダー校にて博士取得後、シンガポール国立大学日本研究学科に勤務し、2010年より現職。観光、災害、ジェンダーと労働、フィールドワーク教育、ポップカルチャーなど、様々な分野で研究・教育活動に従事している。主な著作として *Ryokan: Mobilizing Hospitality in Rural Japan* (University of Hawai'i Press, 2022年出版予定)、*Teaching Japanese Popular Culture* (Association of Asian Studies, 2016)。

主催: 金沢大学人間社会学域国際学類
共催: 金沢大学人間社会研究域附属 先端観光科学研究センター
申込方法: 右記のサイトからフォームを送信してください
お申込者には後日URLや入室パスワードなどをお送りします。
お問い合わせ先: rnakano@staff.kanazawa-u.ac.jp (国際学類・中野)



金沢大学 KANAZAWA
FCTS The Frontier Center for Tourism Science Kanazawa University
KUSIS Kanazawa University, School of International Studies



金沢大学 人間社会研究域附属 先端観光科学研究センター

〒920-1192 石川県金沢市角間町 Kakumamachi, Kanazawa, Ishikawa 920-1192 JAPAN

URL <http://tabi-sciences.w3.kanazawa-u.ac.jp> ⑤ info-tabis@ml.kanazawa-u.ac.jp



先端観光科学研究センターニュースレター 2022年3月31日発行